東電全従業員諸君！ 極道会社は「出ものがないから減るはやらない」とぬかした会のかわかぬ中に芝浦の六名の退職者を「会社の者ではない」とホザいて解雇した。伊達仲君は「職を絶体反対」と見事に立って職場大会を開き、会社と交渉を始めたが驚いた会社は友寄を手先に使って両君を拉致拘留させ而も両君の何も知らない間に首にし 従業員 舞ったのだ。 これこそ大罪 職場の先ぶれとなって仕だ。両君の様な組合の戦斗員を引きこ抜いておいて従業員の手も足も出ない格にしてからやらふと言ふ会社コンタンは俺達をなめきった仕打多。これに俺達食ふや食はずの食棒人と三十人から決出来させきっと言ふ泥棒会社の此の陰謀を殺し見て ある出けら共が寄ってかかって世の中を泥亀とサーベルでフミニジッタ奴等と、会社のこの陰謀を、もう俺達はだまって見ては居られないんだ。俺達が会社の応援をすれば、俺達には日本中の労働者が味方になるんだ。此の力には俺達を応援する当新党準備会を作の労働者大会が開かれる。十日には矢代俺達応援のために「矢来組人会議」が開かれる。単一総評会（矢来地方協議会）に早くも各組合の評士から強力な応援団を組織した。応援基金は日本全国からドシ〳〵集って来る。矢組合の支部では又井の子が切れたら大衆デモで東電本社に押しかけるんだとイキマイて居るのだ。

東電全従業員諸君！ 俺達の背後にはこんな力強い味方が居るのだ。 会社は今やこれに怒れて俺達をかえに出した待遇改善の要求の中「労働者本給に繰り入れる」ことをつり〳〵と言ひ出して俺達の日をゴマ化さうとか、って来た。 会社のゴマ化しに乗るな。俺達の要求はもっと〳〵切実なのだ。この要求を早く出あにとんな邪魔があらうと俺達は最後まで戦はなければならないんだ。今や情勢やむきがかりにからまって来る場合じゃあなく、組織も共組織も要求貫徹公約も絶対多組人会議一セイに立って左のスローガンを戦い取る！

◎芝浦の六名を復職させろ！ ◎仲君伊達君の解雇を取り消せ！

◎首切り絶対反対だ！ ◎待遇を改善しろ！

東電争議大勝利万歳！

昭和三年八月八日

東電従業員争議団
関東電気労働組合
芝区麻布ケ三ノ一

別記内

拝啓 前略 最近本部よりの送附する郵便物が更に当分会に到着せず能々調査したら大宮署にて日々柚野及芝富局の郵便物に注目して居る事にて或る日はみんな取られて失まったではなからうかと思ひ居り候 就ては今後は郵便物の送附はお手数乍らお記場所氏名宛にて御送附下さる様希候

先づは御通知迄

静岡縣庵原郡内房村相沼
鈴木利一宛

八、九

第一分会

本部御中